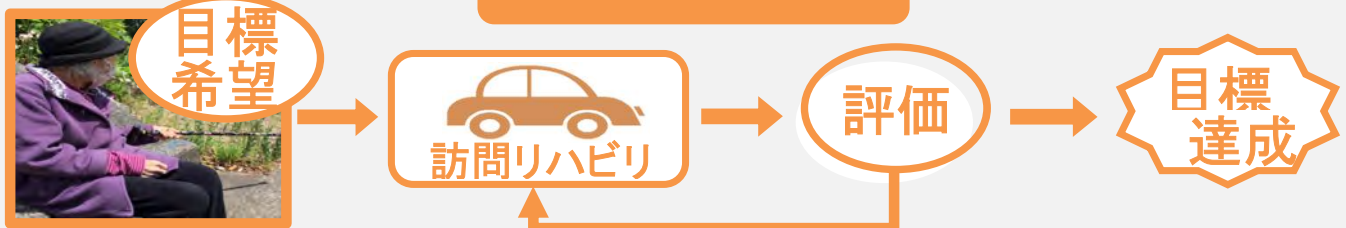


# 訪問看護ステーション通信

大暑の候、皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。  
また平素は格別のお引き立てをいただき、厚く御礼申し上げます。

この度、新たな評価項目を設定した訪問リハビリテーション評価表の運用を開始いたしました。生活期におけるリハビリの効果には、利用者様・家族様の精神面や意欲など、デジタル化できない部分の変化もあります。そのような見えにくい部分も含めて総合的に評価し、利用者様に適したリハビリプログラムの立案やサービスの提供ができるよう活用していこうと考えております。

## 訪問リハビリの流れ



## 意欲を引き出すリハビリ評価例

〈目標〉  
〔ご本人・ご家族の希望〕： もっと楽に歩けるようになりたい

〔リハビリ目標〕： 体力をつけて、より楽に生活を送ることができる

全然歩けない。 しっかり歩くことができる。

目標達成度

挑戦してみたいこと、興味があること  
あそびたい 歩くペースに 戻りたい

### やる気が出てくる

療法士が一方向的に評価せず、利用者様・家族様と一緒に考えることで、利用者様にリハビリに対する意識を持たせ、意欲の向上につなげる。

### 生活が変わってくる

自分で挑戦してみたいことを記入することで、リハビリ以外の時間での自主訓練の実施など意欲的に活動することが期待できる。

〈目標〉  
〔ご本人・ご家族の希望〕： 転倒しないように生活する

〔リハビリ目標〕： トイレまでの動線で歩行器、手すりの使い方を理解する

5回以上転んだ。 まったく転ばない自信がある。

目標達成度

挑戦してみたいこと、興味があること  
風邪をひきたくない